

15. 令和4年度 山梨県てんかん地域診療連携体制整備事業報告書

山梨大学医学部附属病院てんかんセンター 加賀佳美

令和4年度の活動報告

1. 研修医、専門医への教育活動

(1) 山梨大学医学部附属病院 てんかんカンファレンスの開催

以下の通り、山梨大学にて Web/現地のハイブリット開催を行い、関連病院などからも多数の参加者があり、てんかん専門医育成のための研修もかねたカンファレンスを開催した。

- 2022年4月13日 読書てんかんの1例 小児科 高田
- 2022年5月11日 異所性灰白質を伴う焦点性てんかんの1例 小児科 藤岡
- 2022年6月8日 デジャブが主な発作型であった薬剤抵抗性てんかんの一例
脳外科 荻原
- 2022年7月13日 ペランパネルで行動異常が増悪したてんかん性脳症の一例
小児科 溝呂木
- 2022年8月10日 てんかん診療におけるピットフォール 小児科 深尾
- 2022年9月14日 精神障害手帳の書き方 精神科 上村
- 2022年10月12日 山梨エキスパートオピニオンをぶつけてみるー焦点てんかんの第一選択はラモトリギンになるのか 小児科 佐野
- 2022年11月9日 ミオクロニーを主体とするてんかん 小児科 田丸
- 2022年12月14日 広がる？脳波検査の利用 検査部 沢登
- 2023年1月11日 小児てんかん児の睡眠と認知機能 小児科 加賀
- 2023年2月8日 入浴中のてんかん発作の危険性について 小児科 高田

来年度も月1回のカンファレンスを行い、山梨県内のてんかん専門医の育成とてんかん関連施設との研修を行っていく予定である。

(2) 山梨大学医学部附属病院 研修医勉強会

初期研修医に向けての勉強会を開催した

- 2023年7月15日 脳神経外科領域の救急疾患と症候性てんかん 脳外科 風間
- 2023年10月21日 ガイドライン？あれ、全然足りないぜ。現場で役立つけれん対応を「魅せて」やる！ 小児科 佐野

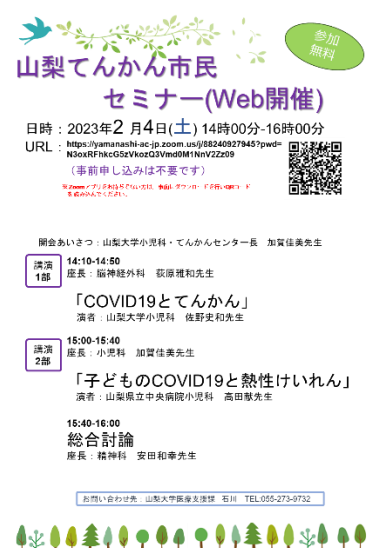
2. 一般市民への啓蒙活動

・2023年2月4日 てんかん市民セミナー Web開催 約40名程度の参加があった。

・冊子「山梨大学医学部附属病院～地域を支える最新医療」に紹介記事掲載（2022年10月31日刊行）

・新聞記事掲載

◆読売新聞 「病院の実力」令和4年4月24日掲載



山梨てんかん市民
セミナー(Web開催)

日時：2023年2月4日(土) 14時00分-16時00分
URL：<https://yamanashi-ac.jp/zoom.us/j/88240927845?pwd=N3oxRFkxOzVkeVkozQ3Vmd0M1NlV2Z2o9>
（事前申し込みは不要です）

講演1部
14:10-14:50
座長：脳神経外科 荻原雅和先生
「COVID19とてんかん」
演者：山梨大学小児科 佐野史和先生

講演2部
15:00-15:40
座長：小児科 加賀佳美先生
「子どものCOVID19と熱性けいれん」
演者：山梨県立中央病院小児科 高田敏夫先生

16:40-16:00
総合討論
座長：精神科 安田和幸先生

お問い合わせ先：山梨大学医療連携課 石川 TEL:055-273-9732

◆山梨新報 「最先端医療 in 山梨 てんかん医療」令和4年12月16日掲載

◆山梨日日新聞 「メディカルテラス」令和4年12月1日掲載

3. 山梨県てんかん支援マップ作成

県内の小児科、脳神経外科、神経内科、精神科を標榜する病院診療所へのアンケート調査を行った。配布は52病院（診療科は111）178診療所で、回収率は病院診療科71.2%、診療所53.9%であった。てんかん診療可能な病院は61病院、不可は18病院、診療可能な診療所は38診療所、不可は59診療所であった。また、初期患者の診断治療ができる病院、診療所は49、他院で治療方針が決定した患者の継続診療が可能な病院は81であった。以上より、病院や診療所の特長を生かしたてんかん診療の可能性があり、てんかん拠点病院と県内各地の病院との連携において、大きな期待が持てる結果であった。また、自由記載の意見として、脳波検査の出来る機関の体制の強化、てんかん診療出来る医師の育成、かかりつけ医以外の受診時の情報共有、てんかん救急の充実、医療機関情報の公表などがあった。承諾の得られた医療機関については、てんかん診療病院のリストを山梨大学附属病院および山梨県のWebサイトへ掲載予定である。

4. 山梨県てんかん地域連携協議会の開催（令和5年2月4日）

てんかん拠点病院より加賀センター長、荻原副センター長、志村支援コーディネーター、医療関係者として笛吹脳神経外科 上野院長、山梨県立あけぼの医療福祉センター 畠山所長、山梨県立北病院 長谷部医長、甲府脳神経外科病院 小林脳神経内科部長、当事者（家族）として、てんかん協会山梨支部代表 古屋氏、県関係機関として富士東部保健所 中根貴弥保健所長、精神保健福祉センター 志田所長、及び事務局が参加してオンラインにて行われた。

報告事項

1) てんかん支援拠点病院の活動実績

山梨大学医学部附属病院てんかんセンター（支援拠点病院）より令和4年度の実績について説明した。

2) 診療状況調査結果、診療可能医療機関公表リスト 3について、山梨県福祉保健部健康増進課より説明があった。リストは会にて紹介され、Webにて公開される予定である。

協議事項

1) 緊急カードについて

山梨大学医学部附属病院てんかんセンター（支援拠点病院）より、救急受診時に、かかりつけ以外の病院で情報共有出来るような「緊急カード」の作成と運用案について説明し、関係者から意見をいただいた。一部訂正して運用していく予定である。

2) てんかん発作時の救急対応についての現状について説明し、問題点について意見を交わした。

3) 知的障害者施設におけるてんかん管理の現状とニーズなどについて情報共有した。